

1・高齢者は歯が命！！

～口腔アセスメントガイドを用いて口腔環境改善～

- 2・所属先所在の市町村名：丹羽郡扶桑町
- 3・所属先等名称：株式会社安芳 有料老人ホーム 永遠の郷
- 4・役職・肩書き等：介護士 /看護師
- 5・発表者氏名：渡邊 昌俊 /今枝 辰弥

【はじめに】

近年、日本人の死亡原因の変化が見られている。死亡原因の第3位に浮上したのは肺炎である。亡くなる人の97%は65歳以上であり、その大部分が誤って唾液や食物が気管に入ってしまう事で起こる誤嚥性肺炎。高齢になるにつれ、飲み込む能力が低下する。口の中の細菌やウイルスも一緒に気管に入り肺炎を引き起こす。寝ている間も唾液を誤嚥する事が多い。

肺炎の発症率を抑えるためには、口腔ケアを適切に行う事が重要とされている。口腔ケアができていないか、できていないかでは熱発や肺炎、死亡率にも大きく関係している。

また口腔ケアは肺炎の予防だけでなく、食事をより美味しく食べる事ができたり、生きる活力となり日々の暮らしに大きく影響するものである。この口腔ケアを個々の入居者様に適した方法で、スタッフ全員が統一して行えるよう取り組みを行ったため発表する。

【取り組み】

取組ポイント

- ①口腔ケアの基本的な手技のスキルアップ 写真①
- ②個々の入居者様に合わせた物品（歯ブラシ、スポンジブラシ等）を選ぶ 写真②
- ③口腔アセスメントガイドを導入（Eilers 口腔アセスメントガイド=OAG）
後に独自のアセスメントガイドを作成 ※別紙1 参照
- ④OAGの点数によりケア回数、ケア方法を4段階に別けた表を作成（プロトコール表）※別紙2 参照
- ⑤個々の入居者様に合わせたケア方法の統一（お口応援計画） 写真③
- ⑥職員の口腔ケアに関する研修に参加（4つの研修に述べ9名参加）
- ⑦往診歯科医師、歯科衛生士との連携の強化
- ⑧看護師、介護士、介護支援専門員、生活相談員の多職種で口腔ケアチームを構成「くわのみ会」
- ⑨OAG導入後、定期的に評価



写真①



写真②

写真③

さんの応援計画
～健康な口腔、穏やかな毎日を！～

実践期間 平成25年6月～12月

口腔ケアの予防
歯肉性疾患の予防
肺炎・嚥下障害の予防、改善

実践プラン	注意すること
口腔ケア ○ガーゼ・スポンジブラシ拭き（歯口周囲） ○口腔ケア実践プランを実施し、歯・口腔・嚥下・経管栄養などのケア、ストレッチ、マッサージを行う。	口腔ケア・嚥下ケアの実施は、口腔ケア実践プランに基づき実施します。 口腔ケア実践プランの実施は、口腔ケア実践プランに基づき実施します。
経管ケア ○口腔・口腔にリップクリーム等を塗布 ○口腔内の清潔シエムを実施	口腔ケアの実施は、口腔ケア実践プランに基づき実施します。
口腔ケアの 運動 ○歯を動かすストレッチ「ガムマシナジ」 ○嚥下運動を実施し、口腔内の感覚を高めたり、嚥下の力を高めるなどの効果があります。	口腔ケアの実施は、口腔ケア実践プランに基づき実施します。

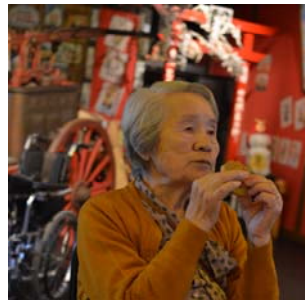
こちらを見る資料掲載：経管栄養 経管栄養ケア士：山下 経管ケア 平成25年12月

【結果】

定期的にあセスメントを繰り返していく事で、重度の機能障害があった入居者様も改善と悪化を繰り返してはいるが、全体の約70%が口腔内環境の改善が見られた。

特に胃瘻による経管栄養を行っている入居者様の発熱頻度の低下。連携している歯科医師からも口腔内環境が全面的に改善していると評価をもらい、快適な暮らしへとつなげる事ができていると思われる。

80歳以上で20本以上の自分の歯で食事が食べられている入居者様は全体の20%であり。現在も好きなお寿司や鰻、せんべい、アルコール等を楽しまれ生きる喜びとなっている。



【考察】

『「口腔ケア」は省かれやすく、成果が表れにくいケア』と言われていた。しかし、この取り組みを導入する事により口腔内環境が数値化により一目で解り、改善していく経過を実感できる。職員は常に口腔ケアの重要性を理解しその認識が高まる事によって得た結果となっている。

職員もこの事実を受け自分達が行うケアが形となって成果がでており、今後も口腔ケアに力を入れていきたいとモチベーションを上げている。

高齢者福祉施設などにある、口腔機能維持管理体勢加算等は当事業所は特定施設である為、算定する事ができない。しかし、入居者様にとって口腔内環境を改善する事で暮らしの質を向上させる事ができるため、今後もアセスメントガイドを用いた取り組みを継続していきたいと思う。

口腔ケア プロトコール例

表側のOAGの各項目を1〜3点で評価し、それらの合計点によって、口腔ケアプロトコール1〜3に分類します。
こちらのプロトコールは、あくまでも1例です。各施設、疾患、患者さんの状態などに合わせて、適宜変更してご使用ください。

裏

項目	プロトコール 1 スコア…8点 正常(今後変化が起こる危険性はある)	プロトコール 2 スコア…9〜12点 軽度の機能障害	プロトコール 3 スコア…13点以上 中度〜重度の機能障害
アセスメント	・入院時に1回、その後1日1回	・入院時に1回、その後1日2回	・入院時に1回、その後1日3回
ケアの回数	1日 …… 6回 粘膜ケア ^{*1} (①②) …… 3回 粘膜ケア ^{*1} +歯みがき ^{*2} (①②③④) …… 毎食後3回	1日 …… 7〜12回 粘膜ケア ^{*1} (①②) …… 4〜9回 粘膜ケア ^{*1} +歯みがき ^{*2} (①②③④) …… 毎食後3回	1日 …… 12回 粘膜ケア ^{*1} (①②) …… 10〜11回 粘膜ケア ^{*1} +歯みがき ^{*2} (①②③④) …… 1〜2回
ケア方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 水、またはマウスウォッシュで30秒間うがい。または、マウスウォッシュをつけたスポンジブラシで、口腔粘膜を保湿しながら清掃。 ② やわらかい歯ブラシにトゥースペーストをつけ、歯みがき。 ③ 水、またはマウスウォッシュでうがい。または、スポンジブラシで口腔内全体を清拭。 ④ 口唇と口腔内全体にオーラルバランスを薄く塗布。(特に就寝前) 	<ol style="list-style-type: none"> ① マウスウォッシュで30秒間うがい。または、マウスウォッシュをつけたスポンジブラシで、口腔粘膜を保湿しながら清掃。 ② やわらかい歯ブラシにトゥースペーストをつけ、歯みがき。または、マウスウォッシュをつけたスポンジブラシで歯みがき。 ③ 水、またはマウスウォッシュでうがい。または、スポンジブラシで口腔内全体を清拭。 ④ 口唇と口腔内全体にオーラルバランスを薄く塗布。(1日数回。口腔ケア後、または必要時に。) 	<ol style="list-style-type: none"> ① マウスウォッシュで30秒間うがい。または、マウスウォッシュをつけたスポンジブラシで、口腔粘膜を保湿しながら清掃。 ② マウスウォッシュをつけたスポンジブラシ、またはやわらかい歯ブラシで、歯みがき。 ③ 水、またはマウスウォッシュでうがい。または、スポンジブラシで口腔内全体を清拭。 ④ 口唇と口腔内全体にオーラルバランスを薄く塗布。(1〜2時間毎。口腔ケア後、または必要時に。)
義歯のケア	・毎食後、義歯を取り外し清掃。	・毎食後、義歯を取り外し清掃。 ・義歯を装着する際は、義歯全体にもオーラルバランスを薄く塗布。 ・炎症がある場合は、義歯を外しておく。	・できる限り義歯を外しておく。 ・義歯を装着する際は、義歯全体にもオーラルバランスを薄く塗布。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・マウスウォッシュがしみる場合には、水または生理食塩水で1対1くらいに薄めて使用してください。 ・粘膜炎により痛みがある場合には、歯ブラシやスポンジブラシが粘膜炎に触れないように注意しましょう。 ・痛みや出血がある場合には、無理をしないようにしましょう。 ・誤嚥の危険性がある場合には、吸引器、または吸引付きスポンジブラシや吸引付き歯ブラシの使用をおすすめします。 		

*1 粘膜ケア：うがい、またはスポンジブラシによる清拭を行い、口腔粘膜上の食物残渣や細菌を除去すると同時に潤いを保つこと。
*2 歯みがき：歯や歯ぐきをブラッシングして、食物残渣やプラーク(歯垢)を除去すること。

バイオティーン オールバランス
biotène oralbalance T&K ティーアンドケー株式会社

プロトコール<OAGスコアにより1〜4へ分類>

分類	プロトコール 1 9点未満 正常	プロトコール 2 9以上13点未満 軽度の機能障害	プロトコール 3 13以上20点未満 中度の機能障害	プロトコール 4 20以上 重度の機能障害
項目				
ケア回数・タイミング	3回/1日 12:30…①②③④ 18:30…①②③ 7:30or8:00…①②	3回/1日 12:30…①②③④ 18:30…①②③ 7:30or8:00…①②	5回/1日 10:30…① 13:00…①②③④ 15:30…①②③ 18:30…①②③ 4:30…① 7:30or8:00…①② ※15:30は経管の方のみ、18:30は経口の方のみ	9回/1日 10:30…①①②③④ 13:00…①②③④ 15:30…①②③④ 17:30…①②③ 22:00、0:00、2:00、4:30…① 7:30…①②③④
口腔ケア内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 水または薄めたモンダミンにて30秒間うがい、またはモンダミンに浸けたスポンジブラシにて口腔粘膜を保湿しながら拭掃 ② 歯ブラシもしくはスポンジブラシにて歯磨き ③ 口唇と口腔内全体にマウスピュアを薄く塗布(入床時) ④ ※個別口腔ケア 	<ol style="list-style-type: none"> ① 水または薄めたモンダミンにて30秒間うがい、またはモンダミンに浸けたスポンジブラシにて口腔粘膜を保湿しながら拭掃 ② 歯ブラシもしくはスポンジブラシにて歯磨き ③ 口唇と口腔内全体にマウスピュアを薄く塗布(適宜、入床時) ④ ※個別口腔ケア 	<ol style="list-style-type: none"> ① 水または薄めたモンダミンにて30秒間うがい、またはモンダミンに浸けたスポンジブラシにて口腔粘膜を保湿しながら拭掃 ② 歯ブラシもしくはスポンジブラシにて歯磨き ③ 口唇と口腔内全体にマウスピュアを薄く塗布(口腔ケア後、適宜、入床時) ④ ※個別口腔ケア 	<ol style="list-style-type: none"> ① 水または薄めたモンダミンにて30秒間うがい、またはモンダミンに浸けたスポンジブラシにて口腔粘膜を保湿しながら拭掃 ② 歯ブラシもしくはスポンジブラシにて歯磨き ③ 口唇と口腔内全体にマウスピュアを薄く塗布(口腔ケア後、適宜、入床時) ④ ※個別口腔ケア
義歯のケア	・毎食後義歯取り外し洗浄	・毎食後義歯取り外し洗浄 ・義歯装着する際は、義歯全体にもマウスピュアを薄く塗布	・極力義歯は外しておく ・義歯装着する際は、義歯全体にもマウスピュアを薄く塗布 ・炎症がある場合は義歯を外しておく	・極力義歯は外しておく ・義歯装着する際は、義歯全体にもマウスピュアを薄く塗布 ・炎症がある場合は義歯を外しておく
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨き・うがいをする際は誤嚥予防の為、頭部後傾にならない姿勢に注意する。 ・薬杯の一番下の目盛までモンダミンを入れ、水を一番上の目盛まで入れ薄める。それにスポンジブラシを浸け絞る。そのスポンジブラシでまず、歯と上唇の間を拭い、マッサージしていく。その後上顎・口腔内を拭う。口が開きにくい場合は口角を優しく指で引っ張りながら、少しずつ拭っていく。 ※個別口腔ケア別紙参照 			

※個別口腔ケア別紙参照



















H.25.12.7 改正

Eilers Oral Assessment Guide (OAG) Eilers口腔アセスメントガイド

表

監修：東京医科大学病院 歯科口腔外科 主任教授 近津大地 / 札幌市立大学 看護学部 講師 村松真澄

2011年6月作成

項目	アセスメントの手段	診査方法	状態とスコア		
			1	2	3
声	・聴く	・患者と会話する	正常	低い / かすれている	会話が困難 / 痛みを伴う
嚥下	・観察	・嚥下をしてもらう 咽頭反射テストのために舌圧子を舌の奥の方にやさしく当て押し下げる	正常な嚥下	嚥下時に痛みがある / 嚥下が困難	嚥下ができない
口唇	・視診 ・触診	・組織を観察し、触ってみる	 滑らかで、ピンク色で、潤いがある	 乾燥している / ひび割れている	 潰瘍がある / 出血している
舌	・視診 ・触診	・組織に触り、状態を観察する	 ピンク色で、潤いがあり、乳頭が明瞭	 舌苔がある / 乳頭が消失し、テカリがある、発赤を伴うこともある	 水泡がある / ひび割れている
唾液	・舌圧子	・舌圧子を口腔内に入れ、舌の中心部分と口腔底に触れる	 水っぽくサラサラしている	 粘性がある / ネバネバしている	 唾液が見られない (乾燥している)
粘膜	・視診	・組織の状態を観察する	 ピンク色で、潤いがある	 発赤がある / 被膜に覆われている (白みがかっている)、潰瘍はない	 潰瘍があり、出血を伴うこともある
歯肉	・視診 ・舌圧子	・舌圧子や綿棒の先端でやさしく組織を押し	 ピンク色で、スティッピングがある (ひきしまっている)	 浮腫があり、発赤を伴うこともある	 自然出血がある / 押し出すと出血する
歯と義歯	・視診	・歯の状態、または義歯の接触部分を観察する	 清潔で、残渣がない	 部分的に歯垢や残渣がある (歯がある場合、歯間など)	 歯肉辺縁や義歯接触部全体に歯垢や残渣がある

Eilers J, Berger A, Petersen M. Development, testing, and application of the oral assessment guide. *Oncol Nurs Forum* 1988; 15(3): 325-330. を改定。June Eilers, RN, PhD から翻訳および発行の許可を取得しています。 * [or] は、[/] で表現しています。